

ジョブフェアにおける ピアカウンセリング&キャリア相談

ヨルダンで障害者就労を進めている国際NGOのIOCC (International Orthodox Christian Charities) が3回目となる障害者向けのジョブフェアを開催しました。開催に先立ち、労働省からピアカウンセラー及びキャリアカウンセラーのブース設置を要請し、来場者が個別相談を受けられる場を設けました。ブースを訪れた障害のある求職者の中には、就労以前の段階でピアカウンセリングが必要な人もおり、「個別相談があってよかった」等の意見が聞かれました。ピアカウンセリングが求職者へも有効であることが確認できたので、今後も同様の機会を設け、キャリア相談と共にサービスの拡充を目指していきます。



個別相談を訪れた求職者(手前)及びピアカウンセラー(左奥)とキャリアカウンセラー(右奥)

ジョブコーチ5日間研修実施

1月に実施したジョブコーチ全国セミナーを通じて参加希望のあったNGOの職員と労働省の雇用事務所に勤める障害者雇用担当の内ジョブコーチ研修未参加者を対象に5日間のジョブコーチ研修を実施しました。今回の研修では障害児/者支援分野で活動している青年海外協力隊からも参加希望者を募り、2名の隊員が参加、他の参加者と共に学びました。



分かりやすい作業説明の練習



グループに分かれての話し合い

NGOで働くシリア人女性障害者

シリア人女性ピアカウンセラーの一人が、IOCCで有償ボランティアとして働いています。週3日勤務し、主に高齢者支援のプロジェクトで書類整理等を担当しています。上述のジョブフェアにもスタッフとして参加し、来場者から連絡先などを聞いて登録作業を担当しました。初めての働く経験ですが、徐々に自信を持てるようになってきたとのこと。



来場者の連絡先を聞き取る様子(右)